

議会だより のだ

2018
8/10

第144号

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

田んぼ作業体験
30.5.25



平成30年6月 第12回定例会

主なもの

6月定例会の概要 - P2~3

一般質問 5人が登壇 - P4~9

議案採決一覧 - P10

追跡レポート - P11

えぼし荘で耐震強度不足

工事費を予算計上

6月定例会は6月12日から15日までの4日間の会期で開かれ、平成30年度の一般会計と5つの特別会計の補正予算や監査委員の任命同意など全11議案が村長から提出され、慎重審議の結果、全て可決しました。

一般会計補正予算

2億642万円増

一般会計で歳入歳出に2億642万9千円を増額し、総額で41億3938万3千円としました。

歳入では、前年度繰越金1億6878万8千円、教員住宅整備事業債3480万円などを増額し、歳出では、北区町内会館改修事業432万円、国民宿舎事業特別会計繰出金3929万

5千円、村営住宅管理経費200万円、教職員住宅整備事業3765万5千円などをそれぞれ増額しました。



新たに教職員住宅が整備される予定です

人事

監査委員に中村司氏

平成30年5月31日をもって退職した小野寺健二前監査委員（識見）の後任として新たに中村司氏（中平・59歳）が就任することが議会で同意されました。任期は平成30年6月15日から4年間です。



中村 司氏

利用者の安全確保のため早急な改善が望まれます

質 疑 Q & A

問 公園管理総務費の増額の理由は。

答 都市公園の管理に関する施策が国に認められ、「インフラメンテナンス大賞」の優秀賞に選ばれたことに伴う関係者の旅費を見込んだもの。



引き続き官民協働で維持管理していきます

問 観光振興経費の内容は。

答 定住促進や大学生の研究活動、スポーツ合宿などでの宿泊を想定した施設とするための改修で、シャワーユニットの増設や家電の設置を見込んだもの。

問 旧北区地区町内会館の改修事業の内容は。



入居者の安全確保のため早急な対策が望まれます

問 村営住宅管理経費の増額の理由は。

答 新山住宅のうち3棟の建物内部に、腐食が確認されたことに伴う修繕料である。

答 「のんちゃん」の着ぐるみの製作に係る費用である。

繰越事業一覧

平成29年度内に完了しなかった事業について、村当局より議会へ報告があり、これらは平成30年度に予算を繰り越して執行されます。繰越額は総額で5億7,185万円となりました。

(単位：千円)



復興関連のハード事業も残りわずかです

事業名	総事業費	繰越額
水産物供給基盤機能保全事業	46,000	46,000
復興道路事業	101,214	98,849
がけ地近接等危険住宅移転事業	14,029	14,029
公共下水道施設整備事業（特別会計）	295,000	295,000
簡易水道施設事業（特別会計）	17,500	17,500
復興道路事業（事故繰越）	1,602	1,602
農地・農業用施設災害復旧事業（事故繰越）	3,692	3,692
林道施設災害復旧事業（事故繰越）	95,180	95,180
合計	574,217	571,852

選挙管理委員と 補充員の選挙結果

平成30年6月28日をもって任期満了となる選挙管理委員と補充員の選挙が行われました。選挙の方法は議長による指名推薦で、現委員の全員がそのまま当選しました。

補充員		選挙管理委員	
第1順位	米田 講悦	委員	橘 正剛
第2順位	畑村 広行		沢里 賢雄
第3順位	中村 優介		米田 榮行
第4順位	野竹 みつえ		田中 保雄

「村政を問う」

～ 一般質問 5人が登壇 ～

◆ 小野寺 光 男 議員（5ページ）

— 第一次産業の後継者不足への対応は —

その他の質問

・定住、移住対策について ・自主防災組織について ・都市公園について ・私道整備について

◆ 山 田 陽 子 議員（6ページ）

— 村民が特産品を味わえる取り組みを —

その他の質問

・ハラスメント等の研修及び相談窓口の設置・周知啓発について ・受動喫煙及び三次喫煙防止の取り組みについて ・ペーパーレス会議について ・大阪大オムニサイト（OOS）協定について

◆ 米 田 徳一郎 議員（7ページ）

— 交流物産館の再検討を —

その他の質問

・交流物産館の再検討について ・久慈広域管内の医療体制について ・危機管理体制について
・避難道路整備について ・街路灯の復旧について ・いじめ問題について

◆ 古 舘 幹 男 議員（8ページ）

— 労働支援員の確保を —

その他の質問

・労働支援員確保について ・一次産業の後継者について ・交通安全対策について
・24時間営業店の移転の影響について

◆ 宇 部 武 典 議員（9ページ）

— 本町通りの空き地対策は —

その他の質問

・東日本大震災大津波からの復興の取り組みに関して ・国民健康保険事業の広域化に関わって
・野田村の「交流物産施設」構想と久慈地区「広域道の駅」計画の関連性について
・子どもの医療費無料化政策の拡充に関して ・木質バイオマス発電と森林の再生問題に関して
・国民の疑問に答える国会の審議を求める問題について

※本号掲載以外の質問に関しては村HPをご覧ください
<http://www.vill.noda.iwate.jp/>



小野寺 光 男 議員

第一次産業の後継者不足への対応

村長 取り組みを継続し担い手確保

第一次産業を基礎とする本村の産業について、就業者の高齢化や就業人口の減少が進んでいる。荒海ホタテやワイナリーの建設に伴い生産量拡大に対する期待が高まっており、後継者不足への対応が重要と考えるが、村の様々な事業に対する評価と今後の見通しについて、どのように捉えているか。



後継者不足は喫緊の課題です

村長 後継者確保のための事業として、新規就業者の初期段階を支援する制度や就業後に対する支援、復興支援員制度や地域おこし協力隊制度の活用など、取り組みに対する成果は徐々に始めているものと認識して

おり、今後も取り組みを継続し、担い手確保に繋げて参りたい。

定住促進

本村においても少子高齢化、人口減少が進んでいる。若者の雇用の確保、魅力ある住宅の確保など、未来を担う人材の定住に力を入れるべきと思うが、取り組みは。また移住者向けの支援は。

村長 少子高齢化、人口減少は大変重要な問題であると認識し、未来を担う人材の移住・定住に対する対策は必要であると考え、子育て世代を支援している。今後も補助制度について村内外にPRしていく。また旧北区町内会館を改修し、移住希望者の体験住宅、交流体験など、多目的に活用する準備を進めている。

私道整備

以前、一般質問で、村で整備するためには村道認定する必要がある、いくつかの条件を満たす必要があるが、土地所有者を含めた地域からの要望があれば、条件等を勘案し検討するとの答弁があった。行政サービスの不均衡の問題もあると思うが、条件の一部を見直し整備する考えは。



改修予定の旧北区町内会館（右）

村長 必要性や優先度、予算等を勘案し必要と判断した場合には、認定となる。現在運用する条件は、対象となる路線の所有権や規模、構造、公共性等、村道として最低限必要なものと認識している。

その他

- ・自主防災組織について
- ・都市公園について



以前から整備の要望があった上明内地区内の私道（左）



山田陽子 議員

村民が特産品を味わえる取り組みを

村長 誰もが参加できるイベントを開催

特産品の良さをもって住民と共有し、共に守り育てていくため、のだ塩・山ぶどうワインやジューズを村民に味わってもらう方策は。

村長 のだ塩は、村内小売店の10店舗で取り扱っており、今後も拡大していく。山ぶどうワイン等は村内全酒店で取り扱っているもので、環境は整っているものと考えている。



村全体で特産品の良さを共有していく必要があります

安価なものではないので、村民価格を考えるとどうか。また、村内の行事での乾杯は、「山ぶどうワイン・ジューズ」にしてはどうか。

村長 イベント等で割引販売等実施しているので村民価格は考えていない。乾杯については、その際使ってもらえるようにPRに努めていく。

ハラスメント対策

これまでに職員等を対象にハラスメント等の研修会を実施しているか。また、その必要性和相談窓口及び周知啓発について検討したのか何う。

村長 村単独の研修会は実施していない。今後は、ハラスメントの対策を目的とした研修会を実施するよう働きかけていく。相談窓口は県に委託し、県人事委員会が相談窓口となっているが改めて周知をしていく。

受動喫煙防止

村の公共施設等の分煙化の実態は。また、受動喫煙及び三次喫煙防止に向けた取り組みは。

村長 ①分煙化されているのは、役場庁舎、総合センター。②建物内禁煙は、生涯学習センター、体育館、保健センター、ライジングサンスタジアム。③敷地内禁煙は、小学校、中学校。

今後は、国・県の動向を踏まえ、公共施設や村内の団体等へ推進の検討をしていく。

二次喫煙(受動喫煙)

喫煙者が吐き出した煙やタバコから直接立ちのぼる煙を他者が吸入すること。

三次喫煙(残留受動喫煙)

タバコを消した後の残留物から有害物質を吸入すること。

小中学校の児童生徒の健康診断の結果、呼吸器疾患や虫歯等が多いのが2次・3次喫煙などが及ぼす影響が関係していると危惧するが、喫煙と家庭環境の実態調査を実施する考えは。

村長 考えていない。
教育長 考えていない。

ペーパーレス会議

ペーパーレス会議について、タブレット端末の導入についての考え方は。

村長 県内の市町村の今後

の状況を勘案しながら判断していく。

ペーパーレス会議

紙を使わない、タブレット等を用いた会議システム



議会と村当局で協調して検討していく必要があります

OOS協定

大阪大学オムニサイト(OOS)協定について、村として、今後、どのような展開を目指していくのか。

村長 復興支援や村づくりにおいて、友好的な協力関係のもと、交流事業に係る検討を重ねている。交流人口、関係人口の創出事業の展開などいろいろな可能性を探るために取り組んでいく。



米田 徳一郎 議員

交流物産館の再検討を

村長 客観的に調査・検討する

立地場所、まちなか賑わい再生への効果、管内の類似施設との競合建設時期、場所の問題が多いことから再検討すべきでは。

村長 本年度に実施する「交通動態調査」の中で、三陸沿岸道路開通による村内経済への影響や予測を踏まえ求められる機能など、関係団体等からのヒアリングを含め客観的に調査・検討することとしておりますのでそれらの結果を踏まえ対応していきたい。

また、商工業者の理解と協力、生産者等との協議、協力は、基本構想策定の際に、関係団体から新施設整備に求める機能など、ご意見を伺っているが、「交通実態調査」の中で改めてご意見を伺いたいと考えている。



村中心部のようす

医療体制

夜間の救急医療、特に乳幼児の担当医師が不足しており、出産・子育ての不安解消のため国・県に対して強く要請すべきでは。

村長 医師確保については、各種の機会を捉えて継続して要望している。岩手県保健医療計画を策定する際にも、特に産婦人科、小児科の医師確保が必要であると要望している。



医師不足問題は、地方の抱える大きな問題の一つです

総合医療専門医は地方、或いは深夜の救急医療に重要な役割を担う医師の養成制度だと期待しているが見通しは。

村長 総合診療専門医制度

は重要なことは認識しているが医師の偏在、不足の解消と併せて、ある程度の期間を僻地医療に従事すること等を条件に要望等を進めていきたい。

危機管理

東日本大震災の教訓を契機に地域防災体制整備が必要と考えるが、現状と課題は。

村長 自主防災組織の結成は、北区、旭町、下安家及び婦人消防協力隊の四団体で旭町、下安家は震災、災害により休止状態である。震災等に係る復旧・復興のハード事業や生活再建事業等が概ね完了したことから、消防団と連携を図り活動再開や新たな結成に向け取り組んでいく。

街路灯

震災で損壊した旭町、本町地区の街路灯は、「まちな

か賑わい再生」に必要なが、その時期は。

村長 区画整理区域内の防犯灯や交差点照明は、本町、旭町地区の住民で構成されていた「城内地区地域づくり協議会」既存の防犯灯の復旧も兼ねて整備したところであり、現時点では新たな街路灯を整備する予定はない。

街路灯は城内地区に105基、国の補助をいただき村が事業主体として整備した村の財産、震災復旧されるべきでは。

村長 現段階では、あの場所に更なる設置は考えていない。地域から負担も含め要望があれば事業導入等を検討したい。



北区地区(左)



本町・旭町地区(右)



古館幹男議員

労働支援員の確保は

村長 労働力確保に向けた対策を検討

一次産業を支える労働支援員確保が年々厳しくなっていると聞くが現状は。

村長 漁業では養殖漁業の入替時期や出荷時期が、農業は田植時期や収穫時期で労働力が必要になると伺っている。現状では、生産者自身でなんとか確保できているようだが、高齢化の進行等により年々厳しくなっていると聞く。

生産者にのみ任せるのではなく、行政主導し漁協、農協の協力を得て、株式会社野田村に人材登録する制度は作れないか。



関係団体と協力・連携し、第一次産業を支えていく必要があります

村長 労働支援を直々に行っている方も減っているようである。株式会社涼海の丘では、定款で作業受託等について定めている。そういった組織と連携しながら体制を作っていきたい。

一つの仕事にこだわらず、年間を通した仕事ができるように考えていければと思うが、考えは。

村長 現在、検討しているところだが、難しい。加工等も含めて通年での仕事になれば一番理想的だと思っている。

後継者

漁業の組合を辞める方が多いと聞いているが、その推移と今後の見通しは。

村長 平成22年時点で190人だった組合員が平成29年では143人となり、7年間で47人減少している。組合員の高齢化や後継者不足が要因であり、担い手の確保が喫緊の課題である。村では、漁協・振興局と連携し、担い手確保に向けた取り組みを進めることとしている。

交通安全対策

県道の切り替えにより、信号機の設置が期待されていたが、設置はなく、夏場に通行量が多くなった時が心配との声があるが、見通しは。

村長 県による信号機設置の予定はなく、一時停止の規制で対応していくとのこと。

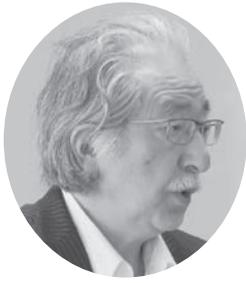
とである。村としては、全線開通後の状況を確認し、地域からの希望があれば交通規制対策協議会への要望などを検討している。



悲惨な交通事故防止のため、計画的な施設整備が望まれます

24時間営業のコンビニエンスストアが宇部地区に移転した影響と、他のコンビニエンスストアの出店の情報はあるか。

村長 移転の影響や他のコンビニエンスストアの出店情報は把握していないが、地元商店が少しでも潤うことと、住民の生活が不便にならないようにと考えている。情報等あれば提供していきたい。



宇部武典 議員

本町通りの空き地対策は

村長 空き家情報バンクを活用

村づくりの中心地と位置付けられている「シンボル」としての本町通り」に残されている空き地対策は。

村長 大きな課題と認識している。土地所有者には空き家情報バンクをご活用いただき土地の有効活用が図られるよう取り組んでいく。なお、土地の利用予定がないものは22件で合計11,173㎡(約3,724坪)である。



空き地解消に向けて、積極的な情報提供・公開が望まれます

仮設店舗で営業する方には、復興期間である2021年までは、今までと同様の条件で営業継続と本設移行への支援を続けることが望ましい。

村長 利便性の確保や工業の振興上欠かせない事業

者と考えており、現施設の譲渡や賃貸借など最大限の支援を行う。

災害公営住宅への入居の継承は配偶者しかできないことになっているが、実態に合わせた柔軟な対応が必要では。

村長 配偶者のみならず同居者であれば条例等に沿って承認している。また、災害公営住宅の空き家は一般の村営住宅として活用する。

被災者の医療費・介護保険利用料免除は、復興期間の10年間は継続するよう求めてはどうか。

村長 県でも継続実施を検討中のような。



被災者の生活に大きく関わる問題です

国保

広域化に伴う国保税率等の改定により、国保加入世帯の約3分の1の世帯で国保税が引き上げとなるようだ。これは避けるべきと考えるがいかがか。

村長 一般会計からの繰り入れもあるので、国保加入者の負担には配慮したい。

物産施設

野田村の「交流物産施設」と久慈地区「広域道の駅」計画の関連性について、村としては、広域道の駅の運営状況や旅行者などの動向も見ながら、じっくり間をおいて判断することが大事なのは。

村長 この計画は久慈管内の玄関口として構成市町村に誘導するハブ的役割を担うこと、類似施設との共存を図ることを条件として合意したものだ。

医療費

小学校までの医療費無料化(現物給付方式)の実施はいつになる見通しか。

村長 早期の実施に向けて県と協議する。

森林

村内から伐採・搬出されている木材の量は。また、植林の状況は。

村長 平成28年度は約4,500トン、平成29年度が約2,500トンでほとんどが村外に搬出された。造林方法は天然更新となっている。



村内のバイオマス発電所のような

請願・陳情

6月定例会には、請願1件、陳情2件を受理し、総務教民常任委員会に付託され審議が行われました。慎重審議の結果、3件とも「採択すべきもの」として決定し、発議案として議会へ提出したところ、3件とも可決され、国へ意見書を提出しました。

◆請願第7号 「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」

請願者…岩手県教職員組合県北支部 支部長 荒木 裕之

紹介議員…宇部武典議員

内 容…子どもたちの豊かな「学び」を実現させるためには、教職員の授業準備や教材研究等の時間の確保が不可欠である。しかし、現状では長時間労働の是正が必要な状況であるため、計画的な教職員定数の改善と義務教育費の国庫負担割合の増加を求める。

◆陳情第10号 「国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情」

陳情者…岩手県国家公務関連労働組合共闘会議 議長 岩崎 保

内 容…震災から7年が経過する中で、国と地方の公務員は復興に向けて全力で取り組んでいるが、政府は財政赤字の原因は公務員等の人件費であるかのように主張し、定数削減などを行っている。住民の暮らしと安心・安全を守るために、人員と出先機関のこれ以上の削減を行わないことを望む。

◆陳情第11号 「臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情」

陳情者…移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美

内 容…現在、臓器提供数は必要数を大きく下回っている状況にあるため、臓器移植を安心して身近なものとして定着させるための更なる啓発と臓器提供体制の整備・支援を求める。

採決一覧表

○…賛成 ×…反対
※議長は採決に参加しない。

会議	議案番号	議案内容	宇部武典	岩岡吉比古	古館幹男	八幡文耕	山田陽子	内野澤進	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	廣内和之	貳又正人	結果
第12回定例会	議案第1号	平成30年度野田村一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成30年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成30年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	平成30年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	平成30年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第6号	平成30年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第7号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第8号	久慈都市計画城内地区津波復興土地区画整理事業施行条例及び久慈都市計画城内地区津波復興土地区画整理事業保留地処分基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第9号	野田村保健センター集会室の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第10号	野田村過疎地域自立促進計画を変更することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第11号	監査委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第1号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、政府予算拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第2号	国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	臓器移植の環境整備を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	

追跡 レポート

あの問題 どうなりました？

問

ふるさと納税を産業振興に結び付けていければと考えるが、今後の事業の方向性は。
(H29.3 定例会・予算特別委員会)

答

既存のものにとらわれず、体験的なサービス等といった新しい品目の開発を検討している。

「返品品目を 26 品目まで拡大」

「“荒海団” や “かまどのつきや” などでの体験サービスを提供開始」



※写真は例です

ところで、ふるさと納税ってどんな制度？

ふるさと納税は、ふるさとへの寄付金のことです。寄付先は“出身地”に関わらず自由に選ぶことができます。村では、いただいたお金を福祉事業などに充てています。

29年度の寄付総額は、“**521万円**”で、「エンゼル祝金」や「出産祝品」などの事業費に充てられました。

ぷち情報

特に人気の返品品は・・・



村のアイス満喫セットです！

野田村村政調査会 管外視察研修

野田村村政調査会（会長 八幡文耕）は、6月17日から19日まで視察研修を行いました。今回の視察では、「観光から見たまちづくり」をテーマに、埼玉県の東松山市・越谷市・東秩父村の物産施設などを視察しました。

また、野田はまなす会設立30周年記念祝賀会に参加し、会員や各関係団体と意見交換を行いました。

東松山市の「高坂彫刻ブームナード」



野田はまなす会設立30周年記念祝賀会のようす



東秩父村の「道の駅和紙の里ひがしちちぶ」内の和紙の工房



～視察研修を終えて～

東京での野田はまなす会設立30周年記念行事に参加した後、人口も規模も野田村より小さい「東秩父村」が経営している道の駅などを視察しました。

平日というのに食堂はにぎわっており、おみやげ売場、産直にもお客さんが見られました。大都市に近いということもあろうかと思いますが、野田村で計画する三陸沿岸道での道の駅の経営について、人口が少ない三陸地域でどのように経営していくべきか考えさせられた、実りある視察研修でした。

（八幡）

～ 議会の動き ～

3月

- 1日 久慈工業高校卒業式 全議員
- 11日 東日本大震災大津波記念碑除幕式 . . . 議長
- 11日 東日本大震災犠牲者追悼式 全議員
- 14日 野田中学校卒業式 全議員
- 17日 野田小学校卒業式 全議員
- 20日 野田・普代岩友会（普代村） 副議長
- 21日 三陸沿岸道路田老真崎海岸IC～岩泉龍泉洞IC
開通式典（宮古市） . . . 議長
- 25日 涼海の丘ワイナリー 新酒発表会 . . . 議長
- 27日 野田村保育所修了式 議長

4月

- 5日 野田中学校入学式 全議員
- 6日 久慈工業高校入学式 全議員
- 7日 野田分署職員等歓送迎会 全議員
- 9日 野田小学校入学式 全議員
- 16～17日 北部地区町村議会議長会通常総会
（秋田県鹿角市） . . . 議長・副議長

5月

- 1日 PTA連合会主催教職員歓迎会 全議員
- 17日 岩手県町村議会議員研修会（盛岡市） . . 議員4名
- 18日 野田村商工会通常総会 議長
- 21日 道路関係縦軸2団体合同総会（宮古市） . . 議長
- 25日 久慈自動車学校取引先懇親会（久慈市） . . 議長
- 28～29日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会
（東京都） . . . 議長、副議長

あ と が き

平成最悪の西日本豪雨災害の後、各地をおそう猛暑と自然が猛威を振っています。いつ、どこで何が起きるか分かりません。ご油断なく。

さて、広報ができましたのでお届けします。見やすい紙面づくりを心がけていますが、皆さんからのご意見をお寄せください。
（米田（忠））